

映画ロケ

# 彦根城内の中学訪問

# 要さん 全校集会に「潜入」



生徒から歓迎を受けた要さん(右)  
(彦根市金亀町の市立西中で)

全国公開中の映画「劇場版 本能寺の変直後に焼失した安土城最後の一日」に主演した安土城などにいき、焼失の謎を俳優の要潤さんが2日、ロケ地だった彦根城の敷地内にあった彦根城でロケを行い、城内を彦根市立西中(三原宏之校長、281人)を訪問し、生徒たちと交流した。

作品は、NHKの人気番組「トナリスト」が、時空を超えて

## 「文化たくさん感じて」激励

来訪は、ロケに協力した市

民団体「彦根を映画で盛り上げる会」が、映画誘致による地域振興の面白さを子どもたちに知ってもらおうと、同中などに持ちかけて実現した。全校集会の最中に要さんが登場。突然の来訪に、生徒たちは大喜びで出迎えた。古里の香川県で中学生時代、陸上部の練習に明け暮れていたという要さんは「これからの彦根は、文化が盛んなところになると思う。文化は大切。たくさん感じて感じて感じて糧にして、未来へ大きくはばかいて」と生徒たちを激励した。

生徒たちから「歴史上の人物に斬られるなら誰がいいですか」との問いには「新選組副長の土方歳三。これと決めたら突き進む生き方が素晴らしい」と答えていた。

花束を渡した3年、若林美織さん(15)は「会えて感激。2学期の体育祭や学校祭に向けて、生徒みんなのやる気の源になった」と喜んでいました。

要さんはこの日、同作品の中尾浩之監督とともに県庁に嘉田知事を訪ねたほか、彦根市内の映画館などで開かれたトークショーにも出演し、「地元の人にはなじみ深く見てもらえるはず」と滋賀県を舞台にした作品をPRした。